

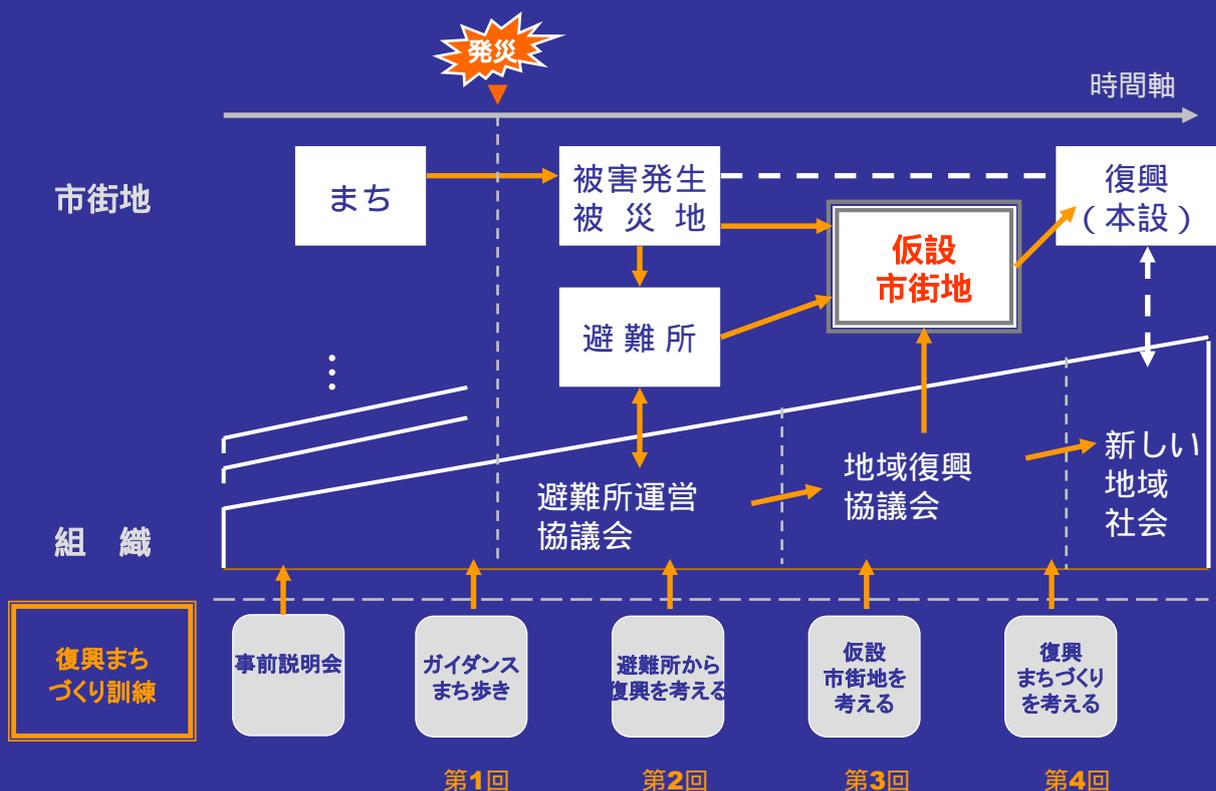
資料4-2 震災復興模擬訓練の事例

1 実施場所	目黒区目黒本町・原町地区
2 実施時期	18年10月～19年1月（5回）
3 参加者	10町会 延189名

事前説明	18年10月3日	22名
第1回 ガイダンス・まちあるき	18年10月29日	44名
第2回 避難所から復興を考える	18年11月26日	40名
第3回 仮設市街地を考える	18年12月17日	35名
第4回 復興まちづくりを考える	19年1月13日	48名

資料作成: 仮設市街地研究会・地域計画連合・首都圏総合研究所

震災復興まちづくり訓練の位置づけ



第1回 ガイダンス・まちあるき

- ・震災復興の考え方、訓練の意義・全体像を理解する
- ・災害マップをつくり、まちの課題と資源を把握する



第2回 避難所から復興を考える

- ・具体的な復興のイメージを理解する
- ・避難所段階で復興のための組織を考える



第3回 仮設市街地を考える

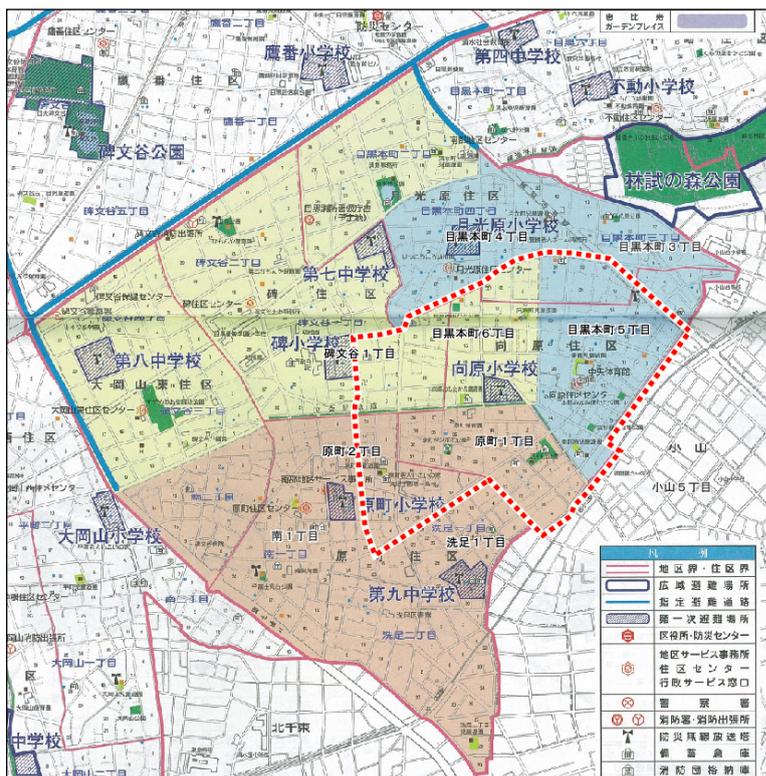
- ・仮設市街地のあり方を考える
- ・仮設住宅を確保するための方策を考える



第4回 復興まちづくりを考える

- ・復興まちづくりのテーマや計画のイメージを考える
- ・訓練全体の成果を理解し合う

目黒本町・原町地区の位置



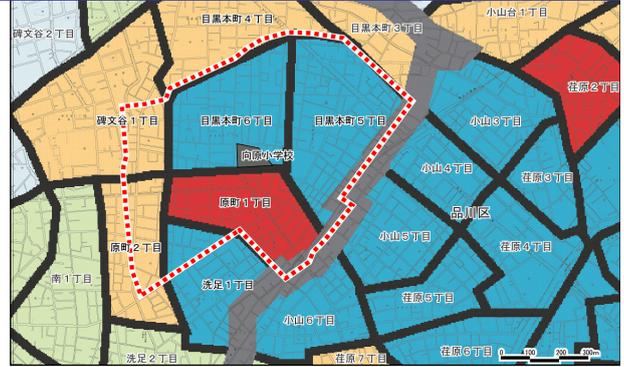
目黒区ホームページより



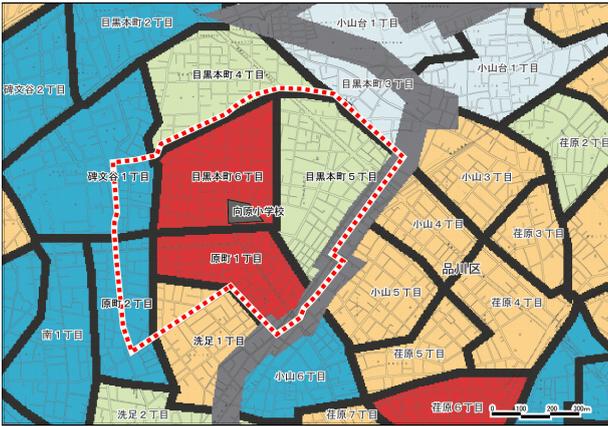
目黒本町・原町地区の地域危険度～各項目



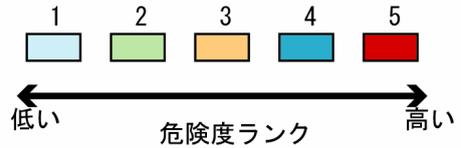
建物倒壊危険度



火災危険度



避難危険度

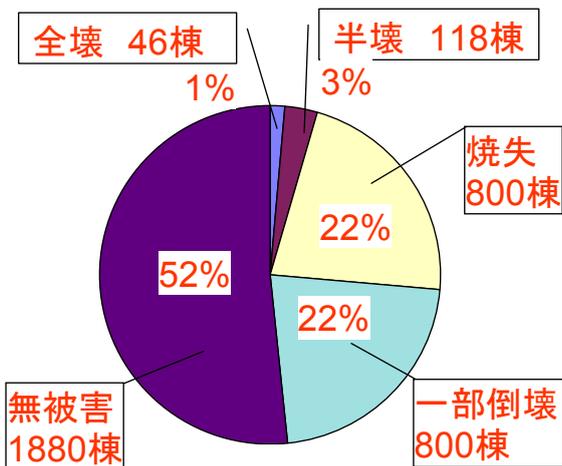


地区全体では、火災危険度と避難危険度が高い

訓練における建物被害の想定

区部直下地震が発生

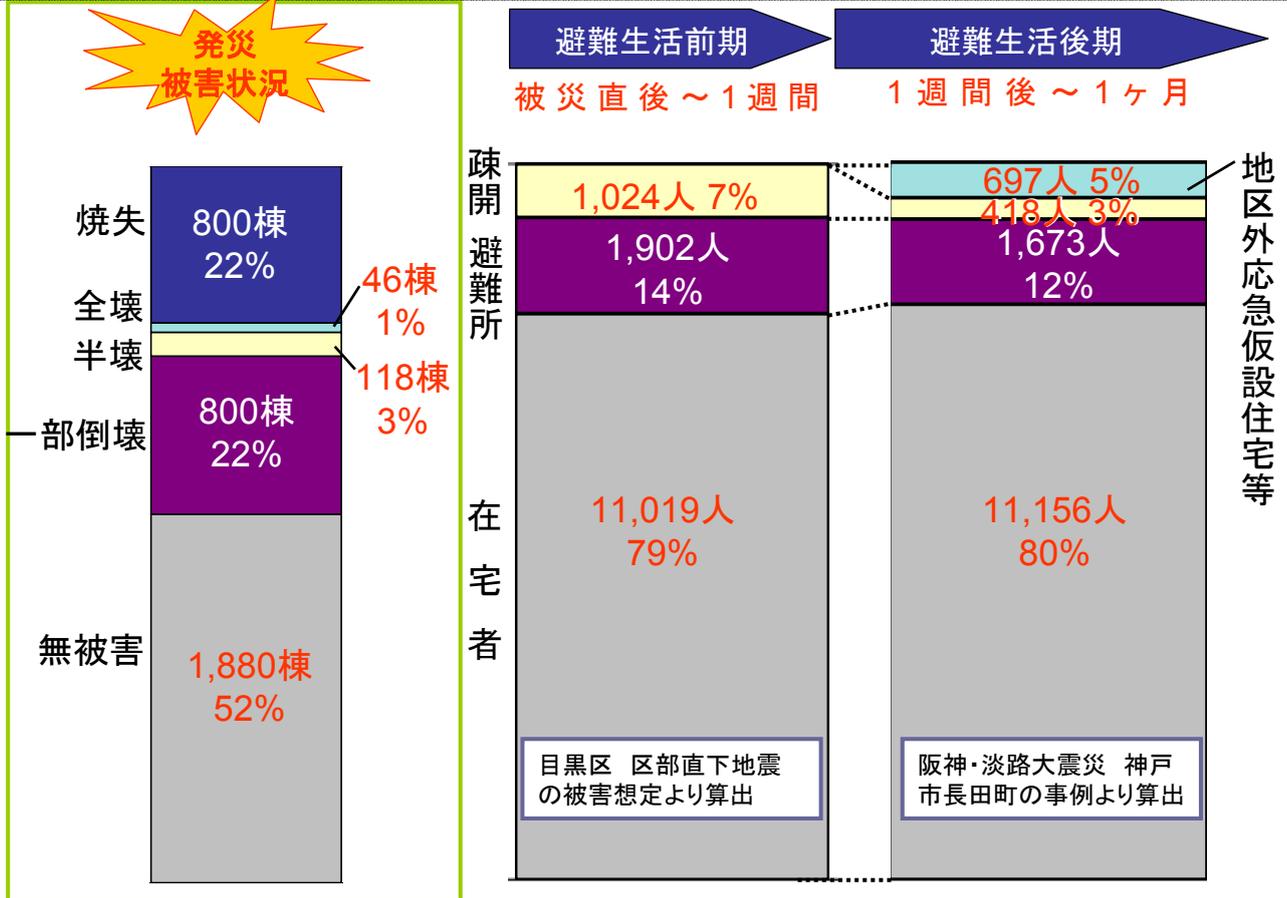
- 【地震規模】 マグニチュード 7.3／震度6弱
- 【地震発生状況】 冬の夕方午後6時ごろ
北北西の風、風速6m／秒程度
- 【地区人口】 13,945人、7,550世帯
(※内65歳以上の高齢者は3,210人 23%)



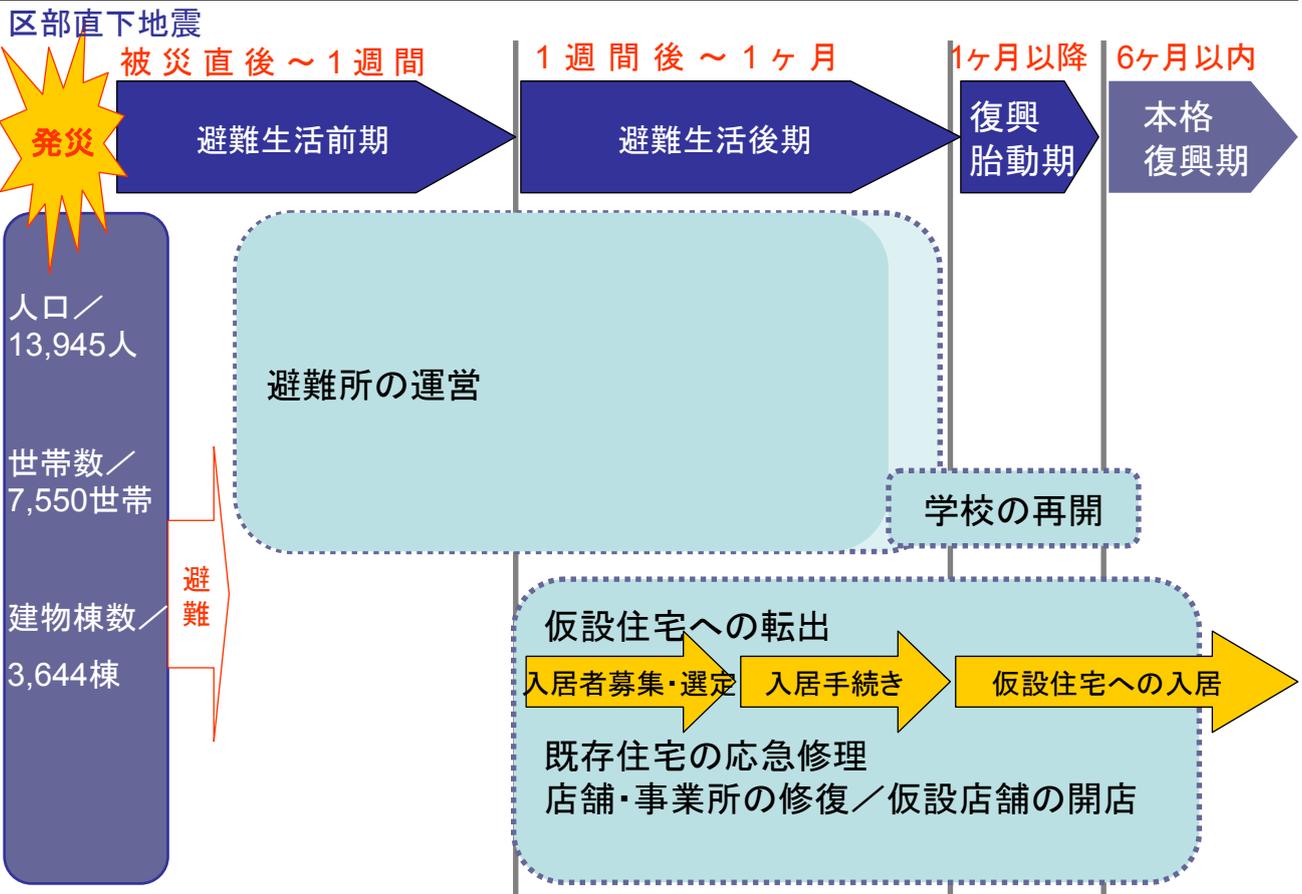
建物総棟数 3,644棟

地区の総棟数 3,644棟
目黒区の総棟数 47,750棟(被害想定より) =0.08
を、目黒区の建物倒壊想定数に乗じて計算

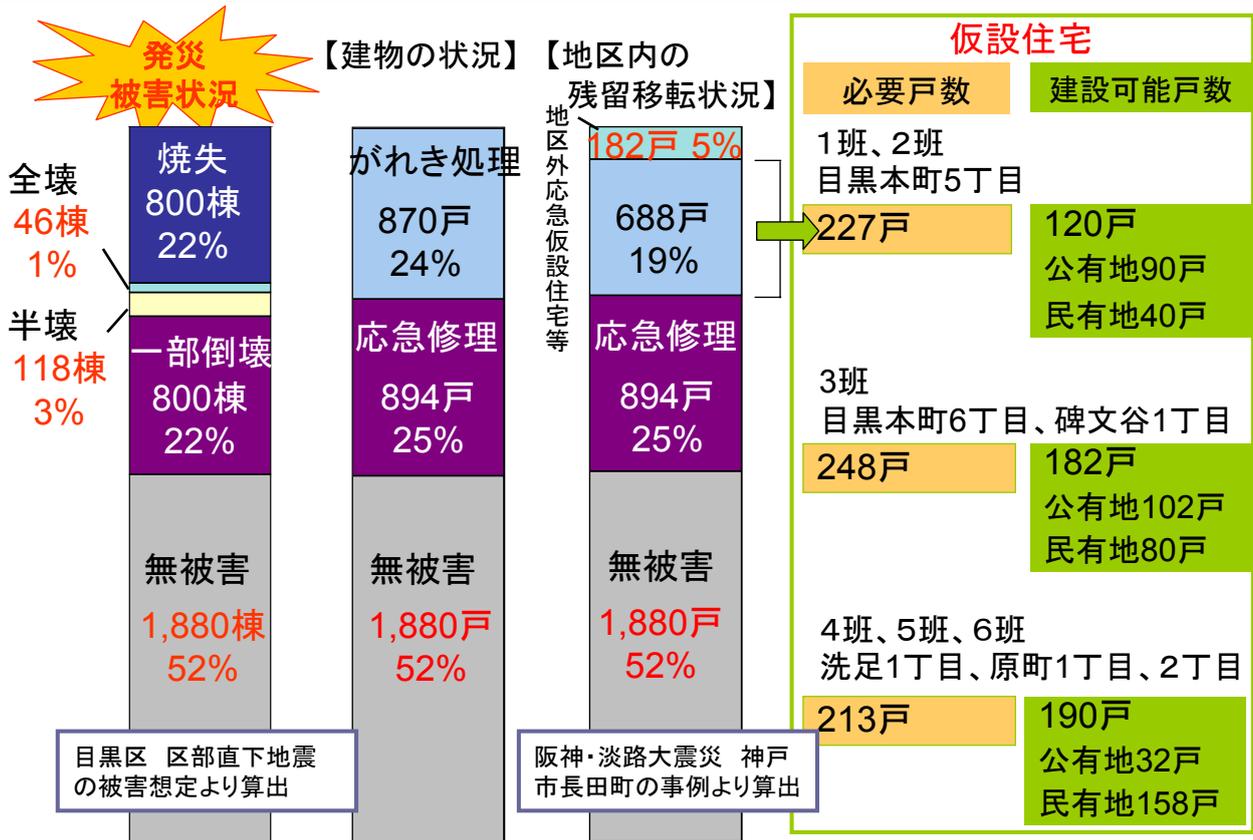
訓練における自宅外避難者の想定人数



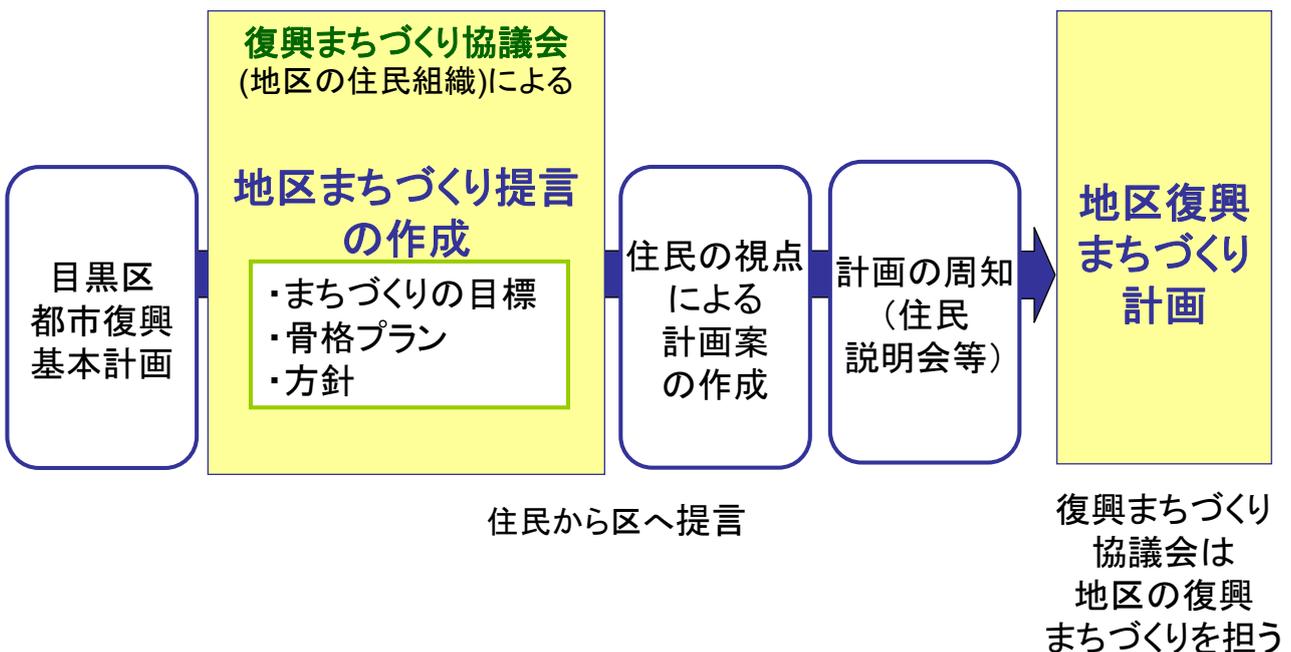
避難所生活から復興へのながれ



目黒本町・原町地区における仮設市街地の必要性



復興まちづくり計画とは



※目黒区震災復興マニュアルより整理

地区の都市計画マスタープラン



参加者の声

- ・ 地域問題についての話し合いの大切さを痛感した。
- ・ 今回のような訓練を回を重ねて行うことで、問題点を明確にし、具体的な内容を話し合う必要がある。
- ・ 住民と行政が日頃から話し合いをすることが重要。震災に対する現実感がない分、震災が起きると大変になるぞ！どうしたらいいの？と考えるよい機会だった。
- ・ 復興まちづくりは難しいテーマだった。
- ・ 震災復興には、予算の確立と有能で誠実、献身的なリーダーの育成が何よりも重要である。

※参加者アンケートの自由意見より抜粋